

# 2017年眼科グループ

## 学会発表

1. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
第4回ふじの国眼科フォーラム（特別講演）（静岡市）1月, 2017.
2. 大鹿哲郎：  
白内障診断アップデート。  
豊島区眼科医会学術講演会（特別講演）（東京）1月, 2017.
3. Kasaragod D, Makita S, Ueno Y, Hoshi S, Fukuda S, Oshika T, Yasuno Y:  
Evaluation of filtration surgery outcome using multi contrast anterior eye segment Jones matrix optical coherence tomography.  
BIOS 2017 - Ophthalmic Technologies XXVII (San Francisco, USA) January, 2017.
4. 平岡孝浩：  
光学的アプローチによる近視進行抑制法を再考する—オルソケラトロジーを中心として—。関西眼科先進医療研究会（大阪）1月, 2017.
5. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
KOWA 緑内障&白内障セミナー2017 in 新潟（特別講演）（新潟市）1月, 2017.
6. 木内貴博：  
緑内障診療アップデート – 賢いOCT利用術 –。  
第25回 横浜Glaucoma Meeting（横浜市）2月, 2017.
7. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
第6回北陸 Crystal Meeting（特別講演）（金沢市）2月, 2017.
8. 高田 寛, 小塚淳子, 佐藤友光子, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
被写界深度延長設計眼鏡レンズ（ESレンズ）装用後の視機能。  
第48回筑波大学眼科集談会（つくば市）2月, 2017.

9. 田原由希子, 岡本史樹, 長谷川優実, 大鹿哲郎 :  
B 群連鎖球菌による感染性心内膜炎が原因であった内因性眼内炎の 1 例.  
第 48 回筑波大学眼科集談会 (つくば市) 2 月, 2017.
10. 湯川知恵, 上野勇太, 平岡孝浩, 海谷忠良, 大鹿哲郎 :  
白内障手術における創周囲の角膜浮腫の切開法による比較.  
第 48 回筑波大学眼科集談会 (つくば市) 2 月, 2017.
11. 萩原希望, 長谷川優実, 平岡孝浩, 中野伸一郎, 大鹿哲郎 :  
角膜後面乱視を考慮した眼内レンズ選択.  
第 48 回筑波大学眼科集談会 (つくば市) 2 月, 2017.
12. 森川翔平, 岡本芳史, 岡本史樹, 猪本尚毅, 石川裕人, 上田哲生, 坂本泰二, 杉谷和彦, 澤田 修, 森 潤也, 高村佳弘, 大鹿哲郎 :  
交通事故に起因する開放性眼外傷の検討.  
第 48 回筑波大学眼科集談会 (つくば市) 2 月, 2017.
13. 吉田祐史, 木内貴博, 大鹿哲郎 :  
白内障手術周術期における僚眼の眼圧変動.  
第 48 回筑波大学眼科集談会 (つくば市) 2 月, 2017.
14. 岡本史樹 :  
新たな眼内タンポナーデ物質の開発.  
Winter Vitrectomy Meeting. (北海道 留寿都) 2月, 2017.
15. 木内貴博 :  
緑内障診療アップデート – 賢いOCT利用術 – .  
千寿製薬社内講演会 (つくば市) 2月, 2017.
16. Okamoto F:  
Epiretinal Membrane (ERM) with Lamellar Hole: When to Operate ?  
Retina World Congress. (Florida, USA) February, 2017.
17. Okamoto F:  
Panel presentaion Trauma.  
Retina World Congress. (Florida, USA) February, 2017.
18. Sugiura Y, Okamoto F, Okamoto Y, Oshika T:  
Time course of changes in metamorphopsia following intravitreal ranibizumab injection for  
branch retinal vein occlusion.  
Retina World Congress. (Florida, USA) February, 2017.

19. 岡本史樹：  
人工硝子体への挑戦。  
第17回網膜ラウンジ（東京）2月, 2017.
20. 平岡孝浩：  
あなたならどうする？不定愁訴ケーススタディ-再現 VTR から学ぶ-。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
21. 加治優一, 子島良平, 森 洋斉, 宮田和典, 村上智哉, 大鹿哲郎：  
翼状片のゲノムワイドエピゲノム解析に基づく悪化因子の探索。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
22. 天野文保, 中野伸一郎, 大鹿哲郎：  
白内障手術における, サージカルガイダンスと 6 時法マーキングとの比較。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
23. 森 悠大, 上野勇太, 湯川知恵, 藤田亜佳里, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
2 種類の前眼部 OCT を用いた角膜前後面屈折力・角膜厚の比較。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
24. 藤田亜佳里, 上野勇太, 森 悠大, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
CASIA2 による角膜中心部および輪部の前面曲率半径の比較。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
25. 湯川知恵, 上野勇太, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
CASIA2 で測定した角膜乱視軸とトーリック眼内レンズ弱主経線軸の比較。  
角膜カンファランス 2017, 第 41 回日本角膜学会総会, 第 33 回日本角膜移植学会（福岡市） 2月, 2017.
26. 平岡孝浩：  
QOV の観点から考える前眼部診療。  
第 46 回いわき眼科集談会（特別講演）（いわき市） 2月, 2017.

27. 大鹿哲郎：  
紹介患者の結果にコミットする。白内障手術。  
第 95 回岡山大学眼科研究会（招待講演）（岡山市）2 月, 2017.
28. 大鹿哲郎：  
中間透光体再建。  
第 5 回新眼科診療アップデートセミナー（招待講演）（京都市）3 月, 2017.
29. 佐藤正樹：  
屈折矯正手技の実際（Orthokeratology～LASIK～Phakic IOL）.  
興和創薬社内研修会（つくば市）3 月, 2017.
30. 平岡孝浩：  
近視進行抑制法アップデート—オルソケラトロジーを中心として—。  
吉祥寺眼科セミナー（東京）3 月, 2017.
31. 平岡孝浩：  
眼疾患の基礎知識。  
眼科コメディカル講習会（東京）3 月, 2017.
32. Hiraoka T:  
Comparison of the 5-year orthokeratology study results between high and low baseline myopia.  
The 17<sup>th</sup> International Congress of Ophthalmology and Optometry China (COOC2017) (Invited lecture) (Shanghai, China) March, 2017.
33. 大鹿哲郎：  
承認の経緯, ガイドライン, 使用上の注意。  
第 14 回 HOYA CTR 講習会（東京）4 月, 2017.
34. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
Cataract Surgery Seminar 2017 in Saga（特別講演）（佐賀市）4 月, 2017.
35. Ueno Y:  
Longitudinal changes in the fibrosis score of filtering bleb using polarization-sensitive optical coherence tomography  
Refractory glaucoma conference in Juntendo-University（東京）4 月, 2017.
36. Oshika T, Wolfe P:  
Assessment of intraocular lens preloaded systems using porcine eyes.  
第 121 回日本眼科学会総会（東京）4 月, 2017.

37. 平岡孝浩：  
コンタクトレンズ関連ドライアイ—その本質と対策は？— 結膜所見とドライアイ症状の関連。  
第 121 回日本眼科学会総会（ランチョンセミナー）（東京）4 月, 2017.
38. 中野伸一郎：  
VERION™とToric IOL  
第 121 回日本眼科学会総会（ランチョンセミナー）（東京）4 月, 2017.
39. 平岡 孝浩：  
屈折矯正理論に基づく実践的診療 実践オルソケラトロジー 患者満足度を高めるコツ。  
第121回日本眼科学会総会（教育セミナー）（東京）4月, 2017.
40. 平岡孝浩：  
合併症と対処法。  
第 121 回日本眼科学会総会（オルソケラトロジー講習会）（東京）4 月, 2017.
41. 杉田 直, 眞壁 健一, 藤井 祥太, 竇野 阿佑美, 高橋 政代：  
iPS細胞由来網膜色素上皮移植モデルを用いた拒絶特異抗体の同定。  
第121回日本眼科学会総会（東京）4月, 2017.
42. 岡本史樹：  
アトピー性皮膚炎患者に対する治療の注意点。網膜硝子体編。  
第121回日本眼科学会総会（東京）4月, 2017.
43. 宮田和典, 安藤 浩, 井上 康, 江口秀一郎, 佐藤雪雄, 杉田 達, 西村知久, 林 研, 藤田善史, 宮田 章, 南慶一郎, 佐々木紀幸, 大鹿哲郎：  
術後 15 年以上のアクリソフ眼内レンズにおける表面散乱光と視力の関係。  
第 121 回日本眼科学会総会（東京）4 月, 2017.
44. 藤田亜佳里, 上野勇太, ディーパ・カサラゴッド, 巻田修一, 星 崇仁, 福田慎一, 安野嘉晃, 大鹿哲郎：  
多機能前眼部 OCT による緑内障術後濾過胞の評価。  
第 121 回日本眼科学会総会（東京）4 月, 2017.
45. 湯川知恵, 上野勇太, 平岡孝浩, 海谷忠良, 大鹿哲郎：  
白内障術後角膜浮腫の切開法別の比較。  
第 121 回日本眼科学会総会（東京）4 月, 2017.
46. 平岡孝浩, 関根康生, 星 崇仁, 岡本史樹, 大鹿哲郎：  
オルソケラトロジーとソフトコンタクトレンズ長期使用症例の近視進行比較。  
第 121 回日本眼科学会総会（東京）4 月, 2017.

47. 長谷川優実, 平岡孝浩, 湯川知恵, 大鹿哲郎 :  
片眼の乱視が両眼コントラスト感度に与える影響.  
第 121 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2017.
48. 守屋友貴, 岡本史樹, 杉浦好美, 村上智哉, 岡本芳史, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
特発性黄斑円孔患者の立体視に影響する視機能因子.  
第 121 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2017.
49. 岡本史樹, 星 崇仁, 酒井崇匡, 杉浦好美, 村上智哉, 大鹿哲郎 :  
ハイドロゲルを用いた人工硝子体の開発.  
第 121 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2017.
50. 村上智哉, 岡本史樹, 杉浦好美, 岡本芳史, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
黄斑剥離を伴わない裂孔原性網膜剥離術後のコントラスト感度.  
第 121 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2017.
51. 岡本史樹. :  
RVOにおける変視とコントラスト感度.  
明日から使える診断治療 - RVO編 - (東京) 4月, 2017.
52. 杉浦好美 :  
RVO治療とコントラスト感度.  
明日から使える診断治療- RVO編 - (東京) 4月, 2017.
53. 平岡孝浩 :  
コンタクトレンズ装用者の自覚症状と結膜上皮障害の関連.  
大塚スキルアップセミナー (東京) 4 月, 2017.
54. 平岡孝浩 :  
近視治療アップデートーオルソケラトロジーと低濃度アトロピン点眼を中心としてー.  
練馬区眼科医会学術講演会 (東京) 4 月, 2017.
55. 平岡孝浩 :  
知っておきたい眼部腫瘍の知識.  
第 22 回茨城 EYE FORUM (つくば市) 4 月, 2017.
56. 浅野宏規 :  
途上国への眼科医療支援~自己閉鎖ECCE.  
参天製薬社内研修会 (東京) 5月, 2017.
57. 岡本史樹. :  
DMEの抗VEGF注射と手術の適応.  
水戸網膜疾患病診連携の会 (水戸市) 5月, 2017.

58. 杉浦好美：  
RVOの抗VEGF治療の適応。  
水戸市網膜疾患病診連携の会（水戸市） 5月, 2017.
59. Oshika T:  
Let's maintain the anterior chamber using your "Goldfinger".  
American Society of Cataract and Refractive Surgery (Symposium)( Los Angeles, USA)May, 2017.
60. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
第9回 TMDU 眼科フォーラム（特別講演）（東京）5月, 2017.
61. 岡本史樹:  
硝子体と網膜疾患の関係 –硝子体を作る, 壊す–。  
アステラス社内講演会（つくば市）5月, 2017.
62. 平岡孝浩：  
コンタクトレンズユーザーの自覚症状。  
ムコスタ点眼液発売5周年記念講演会（東京）5月, 2017.
63. Oshika T:  
Less invasive cataract surgery and anti-inflammatory agent.  
23rd White Nights Ophthalmology Congress in St. Petersburg, 13th Meeting of the Inter-Regional Association of Ophthalmologists, Russia (Invited lecture)( St. Petersburg, Russia) May, 2017.
64. Kasaragod D, Fujita A, Makita S, Ueno Y, Hoshi S, Okubo T, Oshika T, Yasuno Y:  
Birefringent imaging of limbal region using Jones matrix optical coherence tomography.  
Association for Research in Vision and Ophthalmology 2017.( Baltimore, Maryland)May, 2017.
65. Hoshi S, Kasaragod D, Ueno Y, Fujita A, Fukuda S, Yasuno Y, Oshika T:  
Visualization of depth-localized birefringence of pterygium using polarization sensitive optical coherence tomography.  
Association for Research in Vision and Ophthalmology 2017.( Baltimore, Maryland)May, 2017.

66. Tasaki K, Ueno Y, Kasaragod D, Hoshi S, Fujita A, Okubo T, Fukuda S, Yasuno Y, Oshika T:  
Evaluation of fibrosis in filtering bleb before and after needling revision using polarization-sensitive optical coherence tomography: two case reports.  
Association for Research in Vision and Ophthalmology 2017.( Baltimore, Maryland)May, 2017.
67. Mihashi T, Wolffsohn J, Dhallu S, Nakajima M, Hirohara Y, Hiraoka T, Oshika T:  
Shack-Hartmann wavefront aberrometer with ray based analysis for measuring bifocal lenses.  
Association for Research in Vision and Ophthalmology 2017.( Baltimore, Maryland)May, 2017.
68. Ueno T, Kasaragod K, Hoshi S, Fujita A, Okubo T, Fukuda S, Yasuno Y, Oshika T:  
Longitudinal changes in the fibrosis score of filtering bleb using polarization-sensitive optical coherence tomography.  
Association for Research in Vision and Ophthalmology 2017.( Baltimore, Maryland)May, 2017.
69. Koh S, Maeda N, Ikeda C, Asonuma S, Ogawa M, Hiraoka T, Oshika T, Nishida K:  
The Effect of Ocular Surface Regularity on Contrast Sensitivity and Straylight in Dry Eye. Association for Research in Vision and Ophthalmology (Baltimore, Maryland) May, 2017.
70. 平岡孝浩, 三橋俊文, 小塚淳子, 柿田哲彦, 岡本史樹, 大鹿哲郎 :  
近視学童の自然経過における高次収差の経年変化.  
第 1 回近視学会総会 (東京) 5 月, 2017.
71. 広原陽子, 森嶋俊一, 三橋俊文, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
角膜曲率半径, 前房深度, 水晶体厚, 眼軸長の両眼間差と球面度への影響.  
第 1 回近視学会総会 (東京) 5 月, 2017.
72. 三橋俊文, 広原陽子, 森嶋俊一, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
角膜と眼球内部で発生する軸外コマ収差の個人差と球面度との関係.  
第 1 回近視学会総会 (東京) 5 月, 2017.



73. 木下雄人, 上野勇太, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
前眼部 OCT で測定した水晶体曲率半径の屈折値との関連.  
第 1 回近視学会総会 (東京) 5 月, 2017.
74. 平岡孝浩 :  
QOVの観点から考える前眼部診療.  
鹿行地区 Ocular Surface 講演会 (神栖市) 5 月, 2017.
75. 上野勇太 :  
前眼部OCTを用いた臨床研究について.  
江口眼科勉強会 (函館市) 5月, 2017.
76. 木内貴博 :  
眼圧日内変動 一温故知新 そして未来へ.  
第3回 視機能を考えるセミナー (つくば市) 6月, 2017.
77. 平岡孝浩 :  
コンタクトレンズ装用者の自覚症状と結膜上皮障害の関連性.  
品川区眼科医会学術講演会 (東京) 6 月, 2017.
78. 平岡孝浩 :  
QOV の観点から考える前眼部診療.  
第 62 回愛媛県眼科フォーラム (特別講演) (松山市) 6 月, 2017.
79. 森田由香 :  
斜視診療の基本.  
第3回視機能を考えるセミナー (つくば市) 6月, 2017.
80. 岡本史樹. :  
糖尿病黄斑浮腫の外科治療と今後の展望.  
明日から使える診断治療 - DME編 - (東京) 6月, 2017.
81. 上野勇太 :  
虹彩嚢胞切除術後の続発緑内障の一例.  
Tsukuba Glaucoma Academy (つくば市) 6月, 2017.
82. 大澤亮子, 仲嶺 盛, 内田裕規, 澤口翔太, 大城三和子, 湯口琢磨, 大鹿哲郎, 海谷忠良 :  
3 種類のトーリック眼内レンズの術後成績比較.  
第 32 回 JSCRS 学術総会 (福岡市) 6 月, 2017.

83. Oshika T:  
Preoperative consideration and patient selection. MasterClass “Optimizing outcomes in toric IOLs”.  
30th Asia-Pacific Association of Cataract & Refractive Surgeons. (Hangzhou, China) June, 2017.
84. Oshika T:  
Complication management and difficult cases. MasterClass “Optimizing outcomes in toric IOLs”. 29th Asia-Pacific Association of Cataract & Refractive Surgeons. (Hangzhou, China) June, 2017.
85. McKee Y, Weinstock R, Rosen P, Hirschschall N, 佐藤正樹, 神谷和孝, 江口秀一郎, ビッセン宮島弘子:  
日本のスタンダードは世界のスタンダードか?  
第32回JSCRS学術総会（オープンフォーラム）（福岡市）6月, 2017.
86. 佐藤正樹, 林研, 根岸一乃, 神谷和孝, ビッセン宮島弘子:  
2016年度JSCRS会員アンケート.  
第32回JSCRS学術総会（特別報告）（福岡市）6月, 2017.
87. 神谷和孝, 林研, 根岸一乃, 佐藤正樹, ビッセン宮島弘子:  
多施設共同研究から学んだこと, 海外との比較.  
第32回JSCRS学術総会（特別報告）（福岡市）6月, 2017.
88. 大鹿哲郎:  
光学理論から読み解く新しい多焦点眼内レンズ. シンフォニー オプティブルー.  
第32回JSCRS学術総会（モーニングセミナー）（福岡市）6月, 2017.
89. 大鹿哲郎:  
水晶体嚢拡張リング（CTR）の使用実績と臨床応用法.  
第32回JSCRS学術総会（ランチョンセミナー）（福岡市）6月, 2017.
90. 平岡孝浩:  
近視進行抑制アップデート コンタクトレンズ.  
第32回JSCRS総会（シンポジウム）（福岡市）6月, 2017.
91. 平岡孝浩:  
世界の最新トレンドを知ろう!“What’s New in 2017” Extended Range of Vision IOLの光学特性.  
第32回JSCRS総会（インストラクションコース）（福岡市）6月, 2017.

92. 大鹿哲郎：  
結果にコミットする。白内障手術。  
第2回長崎眼科臨床フォーラム（特別講演）（長崎市）7月, 2017.
93. 岡本史樹：  
網膜疾患の視機能と人工硝子体。  
第2回 Open Eye College.（兵庫）7月, 2017.
94. 大鹿哲郎：  
スペシャリストの魅力。  
第6回眼科サマーキャンプ.（木更津市）7月, 2017.
95. 上野勇太：  
緑内障手術の現在と未来。  
大塚スキルアップセミナー（つくば市）7月, 2017.
96. 大上智弘, 浅野宏規, 井口 綾, 佐野真希, 山田慶昭, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
ソフトコンタクトレンズ装用ドライアイ患者へのジクアス点眼液投与の有用性の検討。  
フォーサム 2017 大阪（第54回日本眼感染症学会, 第51回日本眼炎症学会, 第60回日本コンタクトレンズ学会総会, 第6回日本涙道・涙液学会総会）（大阪市）7月, 2017.
97. 平岡孝浩：  
オルソケラトロジーの可能性 オルソケラトロジー-update。  
フォーサム 2017 大阪（第54回日本眼感染症学会, 第51回日本眼炎症学会, 第60回日本コンタクトレンズ学会総会, 第6回日本涙道・涙液学会総会）（大阪市）7月, 2017.
98. 平岡孝浩：  
合併症と対処法。  
フォーサム 2017 大阪（第54回日本眼感染症学会, 第51回日本眼炎症学会, 第60回日本コンタクトレンズ学会総会（オルソケラトロジー講習会）, 第6回日本涙道・涙液学会総会）（大阪市）7月, 2017.
99. 平岡孝浩：  
近視進行抑制研究の基礎知識。  
フォーサム 2017 大阪（第54回日本眼感染症学会, 第51回日本眼炎症学会, 第60回日本コンタクトレンズ学会総会（基礎講座）, 第6回日本涙道・涙液学会総会）（大阪市）7月, 2017.

100. 上野勇太：  
前眼部OCTと緑内障診療。  
千寿製薬社内講演会（つくば市）7月, 2017.
101. 岡本史樹：  
人工硝子体の開発。  
the 11th iseminar x forum（東京）8月, 2017.
102. 平岡孝浩：  
波面センサー最新情報と今後の展開。  
2017 眼光学チュートリアルセミナー（東京）8月, 2017.
103. 大鹿哲郎：  
小児白内障の診断と治療。  
第73回日本弱視斜視学会, 第42回日本小児眼科学会総会（ランチョンセミナー）（金沢市）9月, 2017.
104. 大鹿哲郎：  
眼光学を臨床に生かす。  
第53回日本眼光学学会総会（特別講演）（東京）9月, 2017.
105. 平岡孝浩：  
今更聞けない屈折矯正の基本 ーから学ぶオルソケラトロジー。  
第53回日本眼光学学会総会（教育セミナー）（東京）9月, 2017.
106. 森嶋俊一, 広原陽子, 三橋俊文, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
水晶体の光散乱モデルによる他覚屈折測定における網膜照度と波長特性。  
第53回日本眼光学学会（東京）9月, 2017.
107. 三橋俊文, 広原陽子, 森嶋俊一, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
光干渉断層撮影法を用いた角膜前面曲率の測定精度。  
第53回日本眼光学学会（東京）9月, 2017.
108. 上野勇太：  
白内障手術前後の角膜前後面形状変化について。  
第53回日本眼光学学会総会（ランチョンセミナー）（千代田区）9月, 2017.
109. 大鹿哲郎：  
白内障手術アップデート。  
北海道 IOL 勉強会 2017（特別講演）（札幌市）9月, 2017.

110. Oshika T:  
Advancement in IOL technology.  
RP Centre for Ophthalmic Sciences, All India Institute for Medical Sciences  
(Invited Lecture) (New Delhi, India)September, 2017.
111. Oshika T:  
Let's maintain the anterior chamber using your "Goldfinger".  
Intraocular Implant & Refractive Society (Symposium)( New Delhi,  
India)September, 2017.
112. Oshika T:  
Innovation in IOL Technology.  
Intraocular Implant & Refractive Society (Symposium)( New Delhi,  
India)September, 2017.
113. Oshika T:  
IOL implantation in eyes without adequate capsular support.  
Intraocular Implant & Refractive Society (Symposium)(New Delhi,  
India)September, 2017.
114. 三橋俊文, 三好智満, 不二門尚, 小木恵美子:  
ラット動物モデルに特化した網膜蛍光イメージング光学系による体内網膜神経節細胞の高解像度  
観察.  
視覚科学フォーラム 2017 (豊橋市) 9月, 2017.
115. 木内貴博, 井上隆史, 林寺 健, 大鹿哲郎:  
プロスタグランジン関連薬の長期片眼投与例における眼圧変化と臨床的意義.  
第 28 回日本緑内障学会 (広島市) 9月, 2017.
116. 高木星宇, 上野勇太, 大鹿哲郎:  
エキスプレスの結膜上への露出症例の検討.  
第 28 回日本緑内障学会 (広島市) 9月, 2017.
117. Okamoto F:  
Artificial vitreous component.  
17th Euretina (Barcelona, Spain) September, 2017.

118. Sugiura Y, Okamoto F, Morikawa S, Okamoto Y, Oshika T:  
Time course of changes in contrast sensitivity following intravitreal ranibizumab injection for branch retinal vein occlusion.  
17th Euretina (Barcelona, Spain) September, 2017.
119. Okamoto Y, Okamoto F, Oshika T:  
Perfluorocarbon liquid-assisted membrane staining and peeling technique for macular diseases.  
17th Euretina (Barcelona, Spain) September, 2017.
120. Hoshi S, Okamoto F, Sakai T, Kishino G, Murakami T, Moriya Y, Sugiura Y, Oshika T:  
In vivo feasibility study of an ultralow polymeric content hydrogel as an artificial vitreous body using rabbit eyes.  
17th Euretina (Barcelona, Spain) September, 2017.
121. Nakano S, Hiraoka T, Oshika T:  
Postsurgical results of regular and one-step higher toric intraocular lens model selection using preoperative AS-OCT data in eyes with ATR astigmatism.  
XXXVI Congress of the ESCRS. (Lisbon, Portugal)October, 2017.
122. Hiraoka T, Kakita T, Okamoto F, Oshika T:  
Comparison of the 5-year study results of orthokeratology between high and low baseline myopia.  
XXXVI Congress of the ESCRS. (Lisbon, Portugal)October, 2017.
123. 木内貴博：  
緑内障薬物療法 – My処方レシピ – .  
参天製薬社内講演会（つくば市）10月, 2017.
124. 中野伸一郎  
TECNIS Toric IOL について  
AMO座談会（東京都）10月, 2017.
125. 上野勇太：  
CASIA2における角膜形状解析の改良について.  
第2回CASIA2懇話会（東京）10月, 2017.

126. 上野勇太：  
高侵達前眼部三次元OCT.  
第71回日本臨床眼科学会（シンポジウム）（東京）10月，2017.
127. 大鹿哲郎，黒坂大二郎，江口秀一郎，稲村幹夫，永本敏之：  
難症例・合併症例の白内障手術.  
第71回日本臨床眼科学会（インストラクションコース）（東京）10月，2017.
128. 森田由香，後関利明，矢ヶ崎悌司，長谷部聡：  
それでいいのか斜視手術、Hang back法による後転術  
第71回日本臨床眼科学会（インストラクションコース）（東京）10月，2017.
129. 岡本史樹.：  
うんちくビトレクミー ～教科書には載っていない達人のこだわり～.  
第71回日本臨床眼科学会（インストラクションコース）（東京）10月，2017.
130. 平岡孝浩：  
合併症と対処法.  
オルソケラトロジー講習会. 第71回臨床眼科学会総会（東京）10月，2017.
131. 三橋俊文，堀内哲也，安積欣志，不二門尚，大鹿哲郎：  
高分子ゲルアクチュエーターを用いた調節可能眼内レンズの動的収差特性.  
第71回日本臨床眼科学会（東京）10月，2017.
132. 平岡孝浩，星崇仁，伊藤孝雄，村上博志，大鹿哲郎：  
オルソケラトロジー5年間使用成績調査－矯正の強弱による結果比較－.  
第71回臨床眼科学会総会（東京）10月，2017.
133. 中野伸一郎，天野 文保，高木 星宇，平岡 孝浩，大鹿 哲郎：  
異なる2つの角膜形状解析装置を用いて測定した角膜乱視量と乱視軸の日差および日内変動.  
第71回日本臨床眼科学会（東京）10月，2017.
134. 神田 寛行，大鹿 哲郎，平岡 孝浩，長谷部 聡，大野 京子，森山 無価，石子 智  
士，稗田 牧，鳥居 秀成，Saulius R Varnas，不二門 尚：  
軸外収差理論に基づいた眼鏡レンズの近視進行抑制効果の検証.  
第71回臨床眼科学会総会（東京）10月，2017.
135. 山本 敏哉，平岡 孝浩，大鹿 哲郎：  
眼内レンズ挿入眼の後方散乱－3測定方法の比較.  
第71回臨床眼科学会総会（東京）10月，2017.

136. 森悠大, 上野勇太, 平岡孝浩, 濱中輝彦, 大鹿哲郎 :  
虹彩嚢胞切除後に発症し治療に難渋した続発緑内障の一例.  
第71回日本臨床眼科学会 (東京) 10月, 2017.
137. 吉田祐史, 上野勇太, 大鹿哲郎 :  
イクスプレス®挿入術後の強膜フラップ厚の経時的変化.  
第71回日本臨床眼科学会 (東京) 10月, 2017.
138. 長谷川優実, 平岡孝浩, 関真理子, 中野伸一郎, 大鹿哲郎:  
前眼部OCTで算出される様々な角膜乱視の違いがトーリック眼内レンズ選択や矯正効果に与える影響.  
第71回日本臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
139. 杉浦好美, 岡本史樹, 森川翔平, 村上智哉, 岡本芳史, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
網膜静脈分枝閉塞症のRanibizumab治療後におけるコントラスト感度と網膜形態との関連.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
140. 村上智哉, 岡本史樹, 杉浦好美, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
Lamellar hole-associated epiretinal proliferation を伴う黄斑円孔の臨床的特徴.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
141. 関真理子, 長谷川優実, 中野伸一郎, 大鹿哲郎:  
角膜後面乱視を考慮したカリキュレーターによるトーリック眼内レンズ選択.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
142. 木内岳, 平岡孝浩, 上野勇太, 大鹿哲郎 :  
乱視軸が角膜高次収差に及ぼす影響.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
143. 湯川知恵, 星 崇仁, 加治優一, 宮田和典, 大鹿哲郎 :  
熊肉摂取後に発症した旋毛虫症にぶどう膜炎を合併した2例.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
144. 守屋友貴, 岡本史樹, 大鹿哲郎 :  
治癒後も変視と不等像視が残存した急性帯状潜在性網膜外層症の1例.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
145. 井坂太一, 岡本史樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
黄斑下硬性白斑に対する意図的黄斑円孔からの黄斑下洗浄術.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.



146. 織田公貴, 長谷川優実, 加治優一, 大鹿哲郎 :  
急激に増大した角膜デルモイド類似病変に対して腫瘍切除術を行った一例.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
147. 藤田亜佳里, 加治優一, 大鹿哲郎 :  
結膜弛緩症へのジクアス点眼前後の涙液機能とimpression cytologyと自覚症状の評価.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
148. 岡本史樹, 熊谷恵子, 新井里依, 角田茉里恵, 佐藤七瀬, 五十嵐千明, 大鹿哲郎 :  
Scotopic Sensitivity Syndrome患者の実用視力.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
149. 福田理英子, 長谷川優実, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
CTR併用トーリック眼内レンズ挿入を施行したチン小帯脆弱3例.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
150. 高橋尚子, 岡本史樹, 長谷川優実, 熊谷恵子, 新井里依, 角田茉里恵, 佐藤七瀬,  
五十嵐千明, 大鹿哲郎 :  
Scotopic Sensitivity Syndrome患者におけるコントラスト感度.  
第71回臨床眼科学会総会 (東京) 10月, 2017.
151. 森川翔平, 岡本芳史, 岡本史樹, 猪本尚毅, 石川裕人, 播本幸三, 上田哲生, 坂本泰二,  
杉谷和彦, 澤田修, 澤田修, 森潤也, 高村佳弘, 大鹿哲郎 :  
転倒に起因する開放性眼外傷の検討.  
第71回日本臨床眼科学会 (東京) 10月, 2017.
152. 大鹿哲郎 :  
現在の極小切開白内障手術の形.  
第71回日本眼科臨床学会 (ランチョンセミナー) (東京) 10月, 2017
153. 岡本史樹. :  
人工硝子体を用いた未来の硝子体手術.  
第71回日本眼科臨床学会 (モーニングセミナー) (東京) 10月, 2017.
154. 上野勇太 :  
緑内障点眼の多様化と今後の治療法の展望.  
茨城EYE FORUM (水戸市) 10月, 2017.
155. 森田由香 :  
斜視診療の基本.  
千寿製薬社内講習会 (つくば市) 10月, 2017.

156. Oshika T:  
Refractive surgery in Japan.  
The 58th Annual Meeting of the Ophthalmological Society of Taiwan,  
International Eye Forum-Taiwan 2017, 2017 Cross-Strait Forum, The 14th  
Japan-Taiwan Joint Meeting of Ophthalmology (Symposium)(Taipei,  
Taiwan)November, 2017.
157. 木内貴博：  
緑内障診療アップデート。  
北信眼科研究会2017（長野市）11月, 2017.
158. Hiraoka T, Sekine Y, ItoT, Murakami H, Oshika T:  
Ten year results of overnight orthokeratology for myopia control in Japan.  
4<sup>th</sup> meeting of European Academy of Orthokeratology and Myopia Control.  
(Venice, Italy) November , 2017.
159. 平岡孝浩：  
コンタクトレンズによる近視進行抑制。  
The 8th Asia Medical Contact Lens Seminar（神戸市）11月, 2017.
160. 森田由香：  
斜視の診療。  
興和社内講習会（つくば市）11月, 2017.
161. 木内貴博：  
緑内障診療1UP。  
第10回 横須賀市眼科医会学術講演会（横須賀市）11月, 2017.
162. 加治優一, 長谷川優実, 大鹿哲郎：  
シリコンハイドロゲルレンズの種類によるアcantアメーバ接着しやすさの比較。  
第 39 回茨城医学会眼科分科会, 平成 29 年度茨城県眼科医会集談会（水戸市）11 月,  
2017.
163. 村上智哉, 岡本史樹, 杉浦好美, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：  
Lamellar hole-associated epiretinal proliferation を伴う黄斑円孔の術前後の視機能。  
第 39 回茨城医学会眼科分科会, 平成 29 年度茨城県眼科医会集談会（水戸市）11 月,  
2017.

164. 高橋尚子, 長谷川優実, 上野勇太, 大鹿哲郎 :  
角膜乱視の計測結果が乖離し, トーリック眼内レンズ挿入後過矯正となった 1 例.  
第 39 回茨城医学会眼科分科会, 平成 29 年度茨城県眼科医会集談会 (水戸市) 11 月,  
2017.
165. 森 悠大, 上野勇太, 濱中輝彦, 大鹿哲郎 :  
虹彩嚢胞切除後に発症した難治性続発緑内障の一例.  
第 39 回茨城医学会眼科分科会, 平成 29 年度茨城県眼科医会集談会 (水戸市) 11 月,  
2017.
166. 織田公貴, 湯川知恵, 星 崇仁, 加治優一, 宮田和典, 大鹿哲郎 :  
熊肉摂取後に発症した旋毛虫症にぶどう膜炎を合併した 2 例.  
第 39 回茨城医学会眼科分科会, 平成 29 年度茨城県眼科医会集談会 (水戸市) 11 月,  
2017.
167. 大鹿哲郎 :  
結果にコミットする。白内障手術.  
第 177 回岡山県眼科医会生涯教育講座 (特別講演) (岡山市) 11 月, 2017.
168. 岡本史樹 :  
人工硝子体は作れるか.  
愛知眼科医会 第3回学術研修会 (名古屋市) 11月, 2017.
169. 木内貴博 :  
緑内障薬物療法 – My処方レシピー.  
大塚製薬社内講演会 (つくば市) 12月, 2017.
170. 大鹿哲郎 :  
結果にコミットする。白内障手術.  
第 27 回千駄木眼科フォーラム (特別講演) (東京) 12 月, 2017.
171. Kobayashi T, Cha YR, Kaji Y, Oshika T, Kano H:  
Multimodal nonlinear spectroscopic imaging of Acanthamoeba causing  
keratitis.  
The Japan Association of Medical Spectroscopy. (Tsukuba, Ibaraki) November,  
2017.
172. 岡本史樹 :  
イブニングセミナー BRVOの視機能 - 抗VEGF薬治療で改善するのか? -  
第56回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12月, 2017.

173. 杉浦好美, 岡本史樹, 森川翔平, 村上智哉, 大鹿哲郎 :  
網膜静脈分枝閉塞症に対する Ranibizumab 硝子体注射治療後の変視 1 年経過.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
174. 星 崇仁, 岡本史樹, 村上智哉, 酒井崇匡, 篠原結子, 中谷正義, 大鹿哲郎 :  
分解性低ポリマー濃度臨界ハイドロゲル人工硝子体の細胞毒性の検討.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
175. 関 真理子, 岡本史樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
涙嚢炎の波及による眼窩蜂窩織炎で眼窩内圧が上昇し網膜中心動脈閉塞症を発症した 1  
例.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
176. 森川翔平, 岡本史樹 1, 岡本芳史, 猪本尚毅, 石川裕人, 播本幸三, 上田哲生, 坂本  
泰二, 杉谷和彦, 澤田 修, 森 潤也, 高村佳弘, 大鹿哲郎 :  
就労に起因する開放性眼外傷の検討.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
177. 井坂太一, 岡本史樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :  
黄斑下硬性白斑に対する意図的黄斑円孔からの黄斑下洗浄術.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
178. 木下雄人, 湯川知恵, 藤田亜佳里, 大上智弘, 岡本史樹, 加治優一, 大鹿哲郎 :  
乳児に生じた A 群β溶血性連鎖球菌による眼内炎.  
第 56 回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 12 月, 2017.
179. 平岡孝浩 :  
近視進行抑制の展望 エビデンスに基づく世界のトレンド.  
第 1 回アルファコーポレーション オルソ K セミナー (東京) 12 月, 2017.
180. 岡本史樹 :  
人工硝子体と未来の硝子体手術.  
第2回Vitreous Surgeon's Night in Takasaki. (高崎市) 12月, 2017.